



2月19日 ヤクルト選手と仲西中学生交流

「夢実現～そこにある君の可能性が無限大の未来を導き出す～」をテーマにヤクルトスワローズ若手選手と仲西中学校の生徒たちとの交流会が仲西中学校体育館で行われました。

交流会では生徒会と選手の対談も行われ、選手たちへの様々な質問が飛び交いました。交流会の最後には「諦めずに続けることが大切だと学びました。学校生活にいかしていきます」と生徒会からの挨拶がありました。

終了後も生徒たちは交流会で得た、夢実現へのアドバイスを噛み締めているようでした。



2月23日・24日 アオリヤエをプロキャストが公演

昨年10月、浦添市内在住の中学生から20代の若者たちにより公演された琉球オペラ「アオリヤエ～ようどれに眠る愛～」が、出演キャストをプロに一新し、てだこホールで公演されました。

今回の上演は、主役、脇役共に県内の若手、中堅のプロのキャストや演奏家を起用し、舞踊にN Sバレエ団・流星太鼓を加えるなど、琉球オペラの更なる成長が見られた作品となりました。来場者は、プロの力強い演技、美しい歌声に魅了された様子で、場面が変わるたびに拍手が沸き起こりました。



2月23日・24日 サークル活動の成果をお披露目 公民館まつり

2月23日、24日の両日、中央公民館で「中央公民館まつり」が開催されました。ベネ音楽四重奏団による演奏で、まつりの幕が開け、公民館を拠点に生涯学習活動をしている様々なサークルのメンバーによる、作品展示や舞台発表が行われました。

オープニングのテープカットの後に、「皆さんの活躍が本市の発展につながります。日頃の成果を大いに披露してください」と市長は、激励の挨拶をしました。

会場には、呈茶のコーナーや食堂もあり、来場者は心もお腹も満たされたようでした。各サークルのメンバーは日頃の活動や成果を存分に発揮し、生涯学習の楽しさを来場者に伝えることができました。



3月12日 充実のキャンパスライフを卒業

3月12日、中央公民館 3階ホールで「平成24年度浦添市でだこ学園大学院卒業式」が行われ、多くの来賓や家族の方々の出席のもと、最年長81歳の方を含む41人が卒業の日を迎えました。

西原学院長から卒業生一人一人に卒業証書が授与され、皆、充実感、達成感に満ちた表情をしていました。卒業生代表挨拶を行った澤紙敏光氏は「生涯学習として、多岐にわたり学ぶことができ、毎日が楽しく充実しました」と2年間のキャンパスライフを振り返りました。最後は全員で『揚げば尊し』を合唱し、式の幕を閉じました。



3月14日 市民憲章実践! 作文コンクール

「浦添市民憲章実践活動作文コンクール」の受賞者表彰式が市役所の4階で行われました。このコンクールは、市民憲章の普及実践と児童・生徒の公德心の高揚を目的に毎年実施されています。

市内の小学4年生から6年生が対象で、最優秀賞4人、優秀賞8人が表彰されました。表彰式では最優秀賞の作品が朗読され、それぞれ市民憲章をとおして本市を見つめ、地域を大切にする気持ちが強く伝わってきました。市長は「感動しました。一人一人が浦添市を好きになることで、素晴らしい浦添市になると思います」とこれからの浦添市を担う児童たちに期待を込めて激励しました。



2月22日～3月17日 古来より伝わる技法「堆錦」

琉球漆器の代表的な技法の一つである「堆錦」を使った作品を展示する「堆錦展」開催にあたり、開会式が浦添市美術館で行われました。

「堆錦」とは、顔料に漆を混ぜて作ったものを文様の形に切って漆器や手箱などに貼り付ける技法で、立体的な表現となるのが特徴です。

展示期間の2月22日から3月17日まで、堆錦の歴史についての説明と共に、貴重な作品の数々が展示されました。

来場した皆さんは、古来より伝わる技法が用いられた巧みな技に、心を奪われた様子で観覧していました。



2月15日 浦添警察署から感謝状贈呈

2月15日に浦添警察署で、浦添署管内の安心・安全確保に寄与した功績が称えられ、本市児童家庭課の松本美穂氏、長浜和歌子氏の2人が表彰されました。表彰式では、並里博警察署長より感謝状が贈られました。

両氏は家庭相談員として、育児や子どもの心身の発達など、様々な子どもに関する悩みについて、市民からの相談を受け、児童福祉の向上に努めてきました。

表彰を受け、両氏は「今後も、家庭相談員として地域の安心・安全の確保のため、悩んでいる市民の力になりたい」と今後の活動への意欲を見せました。

